

明日の学校を目指して

杉並区立和田小学校

地域とともに歩む学校

和田小学校は、昭和七年に和田堀町立の小学校として誕生しました。平成十八年度で、創立七十四年を迎えます。昭和二十年五月二十五日の東京大空襲によって、校舎を全部焼失するという不幸にみまわれましたが、戦後、地域の方で、焼失した杉並区内の学校の中では最も早く、昭和二十二年には、新しい教室が作られました。その後、洛美小学校や環状七号線の誕生、杉並第十小学校の移転などによって、学区の北側と西側が削られ、現在の学区域となっています。最も児童数が多かったのは昭和二十七年で、千六百名を超えていました。現在では三百名を少し超える学校です。



ヒマラヤスギ

学校のシンボルは、校門脇に聳え立つヒマラヤスギです。これは、第一回の卒業記念として植えられたものですが、当時一メートル足らずだった苗木が、七十年で、三階建て校舎



130mの廊下

の屋上よりも高くなりました。校舎は公道を挟んで東と西に分かれており、三階にある渡り廊下で結ばれています。そのため三階の廊下は、東西に直線で百三十メートルもあります。創立当時は西側部分だけ

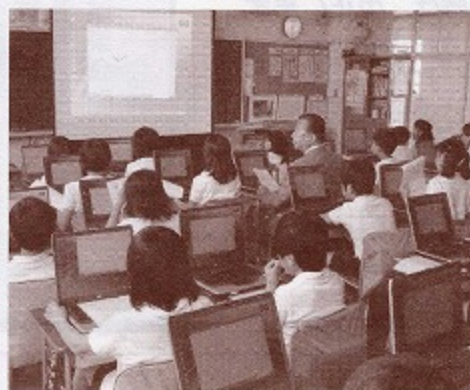
だったそうですが、子供が増えたりきれなくなったりのため、道を挟んだ東側の土地に、新しい校舎を建てたということ。今では子供の数が減ったため、東校舎の一階は、区民集会所と障害者交流センターになっています。地域は、学校にとても協力的で、毎月行われる土曜日学校である「和田っ子土曜学校」や、子供たちの登下校時の安全を見守って下さる「学童通学路パトロール隊」などには、

たくさんの方々が、参加してくださっています。和田小学校の子供たちが伸び伸びと生活していけるのは、この地域の力がとても大きいと感じています。これからも、和田自治協力会や和田一丁目町会、和田商店会、和田商栄会、校成会通り商店会、聖堂通り商店会などの結びつきを一層強め、地域とともに歩む学校でありたいと思っています。

時代をリードする学校

和田小学校では、常に十年先を見つめて、新しい教育に取り組んでいます。平成十二年度からの三年間、文部科学省の科学技術教育・理科教育総合推進事業の研究実践校として、コンピュータを活用した、新しい教育方法や内容についての研究を行いました。平成十四年度から平成十五年にかけては、デジタルコンテンツの開発と活用の研究に協力し、その実践については、PHP研究所から出版された「デジタル教材の使い方活かし方」という本に紹介されています。

平成十五年度にはリクルートから、また平成十六年度には日本ビューレットバカードから、あわせて百四十六台のパソコンの寄贈を受け、区内の各小学校に配置されているパソコンとあわせて、現在では二百台近くのパソコンを保有しています。五年生と六年生は、それぞれ自分専用のノートパソコンが決まっています。必要なときには、いつでもそれぞれ教室で、パソコンを使うことができます。



パソコンによる授業

また、四年生以上の教室は無縁で、その他の教室や体育館は有縁で結ばれており、すべて光ケーブルでインターネットに接続できるようにしています。この思われた環境を活かし、パソコンの父と言われているアラン・ケイが開発した「スクイーク」を使って、プログラムの作成を通して子供たちに、思考力や企画力創造性などを養わせようとする研究を行っています。

妙法寺参拝の

移り変わり

原田 弘

かつての妙法寺は道青梅街道鍋屋横丁から南に分かれる。ここが起点で最近まで「南無妙法蓮華經」の日蓮宗お題目塔とその下に十八町十間と道しるべを兼ねた石塔が立っていた。今この石塔は中野の地から杉並に移され、環七の妙法寺入口角に大切に保管されている。

さて、この妙法寺通りはお寺迄約二キロメートルで、明治期までは参拝者も多く、ことに十三、二十三日の両日には相当の通行人であったそうである。途中料亭も五軒位あり、その中でも今の女子美術大学北側にあった「志がら木」は敷地一万坪といわれた。坂を下って元山手ストアーの前は「梅園」(または梅本、梅元)の料亭があり、庭には真盛寺の



鍋屋横丁際にあった道しるべ

また、前の方に「花園」、そして妙法寺入口、今のサミットの角にある「大つた」という料亭があり、緑の日は別として、十月十三日のお会式の日など、妙法寺名物万灯行進が近郷近在から善男善女の太鼓行進の先頭を歩いてきます。それを二階座敷から人々は鈴なりになって眺めていたものである。当時(戦前であるが)寺の入口敷地内に交番があり迷子が出るので大忙しであったという。



妙法寺祖師堂

これら五軒の料亭の共通した名物料理は「のっぺい汁」と厚手の玉子焼きであったそうで、治道のお茶屋は、焼き団子やら揚げ饅頭、秋なら近在の柿を束ねて戸板の上にとんがらし等と共に並べて売っていた。明治の終り頃までは縁日には新宿あたりの花柳界のきれいだころが人力車に乗ってお参りに来たもの。その人力車を待ち構えて近所の悪童が後ろにぶら下がってひっくり返したなど、ことに元山手ストアー先の上り坂は要注意だったと古老の話は遠い昔を懐かしむよう。

この元来の妙法寺通りも明治半ばに中野駅からの新道の開通によって衰退して行くことになった。新道については稿を改めて書きます。ただここで特記したいのは明治十五年頃(1882)門前町や山門にガス灯がつけられたことです。



妙法寺名物揚げまんじゅう

原田 弘 氏

杉並郷土史学会会長・(元)日本歴史学会会員・杉並区文化財保護指導員・日本ペンクラブ会員

和田堀地区 住民福祉協議会・ 福祉よろず相談所 の再開のお知らせ

昨年10月末まで妙法寺正門前にて開設していた「福祉よろず相談所」の今後の予定をお知らせします。4月上旬をめどに、杉並区社会福祉協議会が杉並区から新たに受託する「地域包括支援センター(ケア24梅里)」と同じ場所にて再開することが決定しました。

「福祉よろず相談所」は、地域での困りごと、各種サービスに関することなど、地元の民生委員などが中心に相談対応いたします。詳細は「和田堀さすなニュース(毎月・町会回覧)」にて紹介いたしますので、皆様のご利用をお待ちしています。

【新住所】杉並区堀ノ内3・49・7
(環七・妙法寺東交差点、妙法寺商店街入口よりすぐ)
【問合せ】杉並区社会福祉協議会
(03・5347・1017)



セシオン杉並まつり2006

■開催日 平成18年6月3日(土)10時～4時
6月4日(日)10時～3時

グループ発表・展示作品募集!!



会場	ホール	第1・2和室
日・時	6月3日(土) 午前10時 ～午後3時	6月3日(土)・4日(日) 両日とも 午前10時～午後2時
持ち時間	30分 準備・後片づけ を含む	30分 準備・後片づけ を含む
募集 団体数	8グループ	両日で6グループ

◎参加資格

◎次の地域に在住、在勤の方々に
さざんかカードに登録をしている
グループ

梅里1丁目・松ノ木2丁目・3丁目・
和田1丁目・3丁目・堀ノ内2丁目・3丁
目・高円寺南1丁目・5丁目・高円寺
北1丁目・4丁目

★申し込み方法

往復ハガキに「セシオン杉並まつり
参加希望」と明記し、

①グループ名 ②代表者名 ③住所
④電話番号 ⑤参加内容(展示作品
演目などを詳しく)を明記し返信
用にご自分の宛名を書き、

杉並区梅里1-22-32
高円寺地域区民センター・セシ
オン杉並まつり実行委員会宛
お送り下さい。

★締切日/4月2日(日) 必着
(申し込み多数の場合は抽選)

◎作品展示会場

展示室(1階)
第6・7集会室(3階)

★申し込み注意事項

①グループ名・代表者名(連絡先・
電話番号)・作品の種類・展示
方法(壁・机・パネルと机)の
中から一つを選んで明記して
ください。作品の種類による占有
面積については一任させていた
だきます。

②抽選後、当選グループは引き続
き説明会にご出席ください。

★抽選会及び説明会日時
4月16日(日) 午前10時
セシオン杉並
第8・9・10集会室(3階)

◎グループ発表会場
ホール/第一・第二和室

★申し込み注意事項

①申し込みハガキに出演日、
出演会場を明記してください。

②お申し込みは1グループ1カ所
のみ

③出演の順番については一任させ
ていただきます。

④抽選後、当選グループは引き続
き説明会にご出席ください。

★抽選会及び説明会日時
4月16日(日) 午後1時
セシオン杉並

第8・9・10集会室(3階)

フリーマーケット出店募集

日時：平成18年6月3日(土)

午前10時～午後4時

6月4日(日)

午前10時～午後3時

会場：セシオン杉並

第8・9・10集会室(3階)

1区画約2m×2m

対象：区内在住、在勤、在学の方
各日16組(業者は不可)

参加費 一、〇〇〇円

◎申し込み方法

往復ハガキに

「フリーマーケット出店希望」

①住所

②氏名

③電話番号(日中連絡のつく番号)

④出店希望日

⑤出店品名(食料品・電化製品は不可)
以上を明記し、返信用にご自分の
宛名を記入の上、高円寺地域区民
センター「セシオン杉並まつり」
実行委員会宛お申込みください。

★締切日4月2日(日) 必着

(申し込み多数の場合は抽選・結果
は4月10日までに連絡します)

★出店当選者は説明会に必ず
ご出席ください

説明会

5月21日(日) 午後1時30分

(会場) セシオン杉並

第8・9・10集会室(3階)



講演会のお知らせ

「セルフメディケーション」
あなたの健康は
あなたが守る

生活習慣病の予防・改善や加
齢による身体の変化などをチエ
ックしてみませんか。

ご自分の健康を知り、早期の
手当てで病気の芽を摘む、これ
が長生きする秘訣です。

●日時：6月17日(土)

午後1時30分～3時30分

●会場：セシオン杉並

第8・9・10集会室(3階)

●講師：市原誠彦・整骨院

市原カイロプラクティック
研究所/蚕糸の森クリニック

各先生方に、日常生活におけ
る健康についての注意点を講演
していただきます。

●定員：100名

●締切：5月31日(水)

応募の詳細については、
区報5月11日号「セシオンふれ
あい」5月20日号に掲載します。

問い合わせは、当センターに
TEL 3317・6614

次号148号は
5月20日
発行予定です